

〈幼児教育の無償化 概要〉

■幼児教育無償化の背景・趣旨等

- ・消費税率の引上げによる財源を活用し、少子高齢化という国難に正面から取り組む
 - ・幼児教育の無償化をはじめとする負担軽減措置を講ずることは、重要な少子化対策の1つ
 - ・子供達に質の高い幼児教育の機会を保障する事は極めて重要
 - ・これまで段階的に推進してきた無償化の取り組みを一気に加速する
- ①現行制度の幼稚園、保育所、認定こども園等の保育料を無償化
 - ②現行制度の対象外の幼稚園、認可外保育施設等の利用者への給付制度を創設
 - ③就学前の障害児の発達支援についても、併せて無償化を進める

■保護者負担額(保育料)

現行法	施設	種別・事業種類等		0～2歳	3～5歳
対象施設	認可保育施設 ・保育園 ・こども園 ・小規模等	住民税非課税世帯		0円	0円
		〃 課税世帯		対象外	0円
	障害児通所施設	住民税非課税世帯		0円	0円
		〃 課税世帯		対象外	0円
	幼稚園	新制度移行園	*公立幼稚園	/	0円
対象外施設	幼稚園	新制度未移行園	*マリア・富士見	/	上限額 25,700円
	認可外保育施設等 ・保育園 ・一時預かり事業 ・ファミサポ事業	保育の必要性 あり世帯	住民税非課税世帯	上限額 42,000円	上限額 37,000円
			〃 課税世帯	対象外	上限額 37,000円
		保育の必要性なし世帯			対象外

《対象者数見込み》

- ・幼稚園卒 約2,500人
- ・保育園卒 約1,740人
- ・障害児通所施設 約200人

■財源負担

- ①現行制度と同じ負担割合 ⇒ 国1/2、県1/4、市1/4 ※公立は、国県負担なし
- ②H31年度に限り、地方負担部分について全額国費により補てん

こども・若者相談センターの概要

概略

こどもから若者までのあらゆる相談に対応するため、各種専門相談員を配置した相談センターをiプラザ内に開設します。(iプラザ3階会議室を改修して設置)

事業内容・対象

こども・若者相談センターでは、これまで子育て支援課で行ってきた「児童虐待防止事業」「女性相談事業」を引き継いで行なうことに加え、中学校卒業以降の若者とその家族を対象とした「こども・若者相談事業」を行っていきます。

- ・来庁での相談、電話での相談に応じていきます 【センター代表 0538-37-2018】
- ・電話相談は各相談事業に専用の相談ダイヤルを設け、相談員が対応します

○児童虐待防止事業 【こども相談ダイヤル 0538-35-4317】

児童虐待防止対策・虐待事案への対応、措置解除後の継続的なソーシャルワーク（国が市町に設置を求めている“市区町村子ども家庭総合支援拠点”の機能を満たす）

○女性相談事業 【女性相談ダイヤル 0538-37-4844】

DVの相談対応・支援、女性からの相談全般（主に離婚・家族関係）への対応

○こども・若者相談事業 【若者相談ダイヤル 0538-37-2752】 ← 2019年7月開設予定

主に中学校卒業以降の若者世代とその家族を対象に、主にひきこもり・ニートの方やその家族の方からの相談への対応

職員体制

教員・保健師・保育士などの有資格者、相談業務経験のある相談員が対応します

【正規職員 5名】

- | | | | |
|--------|----|------|----|
| ○センター長 | 1名 | ○事務員 | 2名 |
| ○教員 | 1名 | ○保健師 | 1名 |

【嘱託職員（相談員）5名】

- | | | | |
|-----------|----|------------|----|
| ○家庭児童相談員 | 1名 | ○女性相談員 | 1名 |
| ○子ども家庭支援員 | 1名 | ○こども・若者相談員 | 2名 |

見込まれる効果

- 子どもの年齢を問わず、親が子どもに関する相談をする先が明確になる
- 中学校卒業後の若者世代に関する相談先が明確になる
- 児童虐待・DV・ひきこもり・ニートなどの要因が絡み合った複雑なケースに対し垣根を作らず一体的に対応できる

放課後児童クラブの現況（公設公営クラブ）

平成31年2月1日現在

No.	クラブ名	開設場所	常勤職員数(人)	利用児童数(人)
1	磐田北小第1児童クラブ	見付交流センター2階	2	24
2	磐田北小第2児童クラブ	磐田北小北校舎1階	2	25
3	磐田北小第3児童クラブ	磐田北小北校舎2階	2	25
4	磐田北小第4児童クラブ	磐田北小南校舎1階	2	22
★5	磐田北小第5児童クラブ	磐田北小南校舎北側2階	2	22
6	富士見小第1児童クラブ	富士見小敷地内専用施設	3	35
7	富士見小第2児童クラブ		3	37
8	富士見小第3児童クラブ	富士見小付近借家	2	23
9	磐田中部小第1児童クラブ	磐田中部小分教室	2	26
10	磐田中部小第2児童クラブ	磐田中部小南校舎1階	2	34
11	磐田中部小第3児童クラブ	磐田中部小分教室	2	21
12	磐田西小第1児童クラブ	中泉交流センター2階	2	28
13	磐田西小第2児童クラブ	磐田中部小分教室	2	25
14	磐田西小第3児童クラブ	磐田西小北校舎1階	2	24
15	東部小第1児童クラブ	御厨交流センター1階	3	20
16	東部小第2児童クラブ	東部小北校舎1階	2	25
17	東部小第4児童クラブ	東部小敷地内専用施設1階	3	31
18	東部小第5児童クラブ	東部小敷地内専用施設2階	2	30
19	田原小第1児童クラブ	旧農協田原支店	2	24
20	田原小第2児童クラブ	田原小北校舎1階	2	25
21	磐田南小第1児童クラブ	磐田南小北校舎1階	2	24
22	磐田南小第2児童クラブ	旧農協天竜支店1階	2	28
23	磐田南小第3児童クラブ	旧農協天竜支店2階	2	20
24	長野小第1児童クラブ	長野小北校舎1階	2	14
25	長野小第2児童クラブ		2	18
26	向笠小児童クラブ	向笠小体育館2階	2	20
27	大藤小児童クラブ	大藤小南校舎1階	2	22
28	岩田小児童クラブ	岩田小特別棟1階	2	14
29	福田小第1児童クラブ	福田小南校舎1階	2	26
30	福田小第2児童クラブ	福田小南校舎2階	3	28
31	福田小第3児童クラブ	福田小北校舎1階	2	21
32	豊浜小児童クラブ	豊浜小南校舎1階	2	26
33	竜洋西小第2児童クラブ	竜洋西小敷地内専用施設	2	20
34	竜洋西小第3児童クラブ	竜洋西小北校舎1階	2	29
35	竜洋東小児童クラブ	竜洋東小1階	2	22
36	竜洋北小第1児童クラブ	竜洋北小1階	3	26
37	豊田北部小第1児童クラブ	豊田北部小北校舎1階	3	30
38	豊田北部小第2児童クラブ		2	32
39	豊田北部小第3児童クラブ		2	24
40	豊田東小第1児童クラブ	豊田東小敷地内専用施設	2	37
41	豊田東小第2児童クラブ		2	33
42	豊田南小第1児童クラブ	豊田南小南校舎内専用室	3	29
43	豊田南小第2児童クラブ	豊田南小体育館2階	2	28
★44	豊田南小第3児童クラブ	豊田南小付近賃貸物件2階	3	20
45	青城小第1児童クラブ	青城小北校舎1階	3	30
46	青城小第2児童クラブ		2	28
47	豊岡南小第1児童クラブ	豊岡南小北校舎1階	2	27
48	豊岡南小第2児童クラブ		2	21
49	豊岡北小児童クラブ		豊岡北小敷地内専用施設	3
合 計			109	1,266

産婦健康診査事業

平成 31 年 3 月 12 日

背景

近年は晩婚化による出産年齢の高齢化により、産婦自身の体調の回復が遅れたり、また、祖父母も高齢化あるいは就労している等の理由により、産後の支援を受けられないケースが増えている。このような中での子育ては、育児不安から産後うつを発症しやすく、産後の支援を早期に実施することが求められている。

目的

産後うつの予防や新生児への虐待予防等のため、病院、診療所、助産院において、産婦健康診査を実施することで、産後の初期段階における母児に対する支援を強化する

対象者

出産後概ね 5 日～21 日（3 週間）以内の産婦（1 人につき産婦健診 1 回）

実施内容

医師の診察や血圧測定、尿検査に加え「こころの健康チェック表」を実施し、産後の精神状態の把握をする

<参考>こころの健康チェック表質問項目：全 10 項目

- はっきりとした理由もないのに不安になったり、心配したりしましたか
- 悲しくなったり、惨めになったりしましたか
- 不幸せな気分なので、眠りにくかったですか （一部抜粋）

健診事後

産婦健康診査の結果、産婦の心身の状態から支援が必要と判断されれば、その情報が、産婦健康診査実施機関から速やかに市へ報告される。市では、支援が必要な産婦に対しては、助産師等が訪問して育児相談や指導を行う、産後ケア事業等の利用を促していく。

産後ケア事業

平成 31 年 3 月 12 日

概要

出産後 2 か月以内に助産師等の看護職が自宅に訪問することで、母親の身体的回復と心理的な安定を促進し、母親とその家族がすこやかな育児ができるよう支援することを目的とするもの

対象者

産婦健康診査で実施した「こころの健康チェック表」の結果等により、育児不安が強いと認められた方

実施内容

助産師等の看護職が自宅を訪問し、授乳や育児についての指導をしながら、産婦の話を聴いたり相談にのる（1回 90 分を 1 人 2 回まで）

特徴（訪問型産後ケア）

- ・利用者の移動の負担が少ない
- ・母子の家族関係、住環境を見ることができると、生活全般の助言がしやすい
- ・生活の場で指導を受けるため、その後の生活に活かしやすい

ひと・ほんの庭 にこっと (H30 実績とH31 計画)

◆利用状況(8 月 11 日～2 月 28 日 開館日数 157 日)

- ①入館者数 585 人／日
- ②図書借用者数 188 人／日
- ③貸出点数 910 点／日
- ④カード新規登録者数 906 人(就学前のお子さん、保護者年代の方の登録が多い)

◆本の貸出状況(2 月末まで)

- 児童書 96,865 冊(67%)
- 一般書 40,381 冊(28%)

◆各種相談業務(2 月末まで)

- ①子育て相談 117 件 (育児相談、健康相談、その他 随時受付)
- ②心理士巡回相談 48 件
- ③にこっとハローワーク 相談 200 件、就労 11 件 (毎週水・金、午後)
- ④保育園入園案内 39 件

◆講座等 H31 計画

- 定例講座／おはなし会(0.1.2 歳、3.4.5 歳、外国語)、プレママおはなし会、25(にこっと)DAY おはなし会、天体観測会(星がきれいな土曜日)
- 専門講座／心理ミニ講座、うまれ～る(出産体験)、手話、パパ・ハンパないね!(発達心理士講座)、いっぱいたべて大きくなあれ(食育講座)、ふたごちゃん・みつごちゃん&ママあつまれ(多胎育児交流会)、ヤギふれあい講座
- スポット講座／ボランティアによるおはなし会、ぬいぐるみのおとまり会、読み語り、昆虫教室、工作会、いわたつ子健幸マイスター育成講座、わらべうた講座、漫画家(藍川さき)講演会、造形作家(ツペラツペラ)ワークショップ
- ヤギ飼育／10 月 30 日～ (あんこ・きなこ)
- 記念事業／オープン1周年記念事業:天体ワークショップ(予定)
来館10万人達成記念

◆視察受入

- 県内／26 件 565 人、 県外／5 件 59 人